

電力システム改革に向けた東芝の系統ソリューション

Toshiba Power Grid Solutions toward Electricity System Reform in Japan

巻頭言

創業者の気概を胸に、電力システム改革に向け新たな一歩を

Taking a New Step Forward toward Electricity System Reform in the Spirit of the Founder, Hisashige Tanaka

我が国の電力システム改革は、2015年の第1段階である“電力広域的運営推進機関の設置”，2016年の第2段階である“小売全面自由化”を経て、現在は、2020年4月に予定される第3段階の“送配電部門の法的分離”に向かって進んでいます。電力系統は、発電から送電、配電、そして需要までをつなぐ電力流通技術を基盤として、常に高い電力品質を維持し、我が国の基幹インフラシステムとして産業発展を支えてきましたが、この改革により電力流通の運用と管理の形が大きく変わります。また、2017年4月からは都市ガスの小売全面自由化も始まり、“電力”の枠を越えてエネルギーサービスを融合する動きも、今後加速されます。

これまで東芝は、電力流通分野において、変圧器などの機器類や、電力監視制御システムなどの製品を確実に提供することで、電力品質を技術面で支えてきました。電力システム改革では、電気事業に関係する事業者が増えて複雑化しており、より密接な関係を相互に構築していく必要があります。当社は、これまでの技術や知見を有効活用しつつ、(1)新しい電気事業制度に対応すること、(2)運用効率や保守効率を高めてお客様の経営に貢献する製品を提供すること、の二つの方針を中心に取り組んでいます。

世界がインターネットを介して接続された現代社会において、ハードウェア、ソフトウェアの技術進歩の速度はすさまじく、当社の製品開発・提供においても、最新技術の導入や他社との連携は必須です。

このような状況の下、当社は、これまで培った電力に関する技術や知見を有効活用しながら、発送電分離に対応した電力需給管理システム、運用・保守のスマート化を実現する電力監視制御システム、IoT (Internet of Things) などの最新技術により送配電設備の保守効率を高めるアセットマネジメントシステム、調整力確保や再生可能エネルギーの導入拡大に貢献する蓄電システムなど、新たな製品を提供して参ります。また、資源の枯渇や地球環境の変動などの今後予想される課題を解決し、“安心、安全、そして、いきいきとした社会”を支える系統ソリューションを、当社はこれからも提案して参ります。

「万般の機械考案の依頼に応ず」は、創業者の一人である田中久重が掲げた看板の言葉ですが、新たな社会の着実な実現に貢献できるよう、当社は次の一歩を踏み出します。

齋藤 英揮
SAITO Hideki